



2017年7月20日

鹿児島市との「防災意識の啓発等に関する協力協定」の締結について

損保ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、鹿児島市の防災力向上に関し、相互に密接な連携を図るため、鹿児島市（市長：森 博幸）と「防災意識の啓発等に関する協力協定」を7月20日に締結いたしましたのでお知らせします。

なお、「防災意識の啓発等に関する協力協定」の締結は、九州内の市町村では、鹿児島市が初めてとなります。

1. 背景・経緯

損保ジャパン日本興亜は、「市民・行政、NPOなどの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献すること」をCSRの重点課題のひとつとしています。

そのための取組みとして、損保ジャパン日本興亜は、地域防災に関するノウハウを活かし、地域防災力の向上と鹿児島市内の防災への取組活性化に貢献するため、鹿児島市に相互協力協定を提案し、このたび締結に至ったものです。

2. 協定の目的

鹿児島市と損保ジャパン日本興亜は、平素から防災への取組みについて相互に密接な連携をすることで、鹿児島市の防災力の向上に寄与し、災害等から市民の生命・身体および財産を守ることを目的としています。

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みである防災の分野において、以下の4つの連携・協力を行います。

- (1) 子供向け防災教育プログラム「防災ジャパندا・プロジェクト」の開催
- (2) 市民の防災意識の啓発及び防災知識の普及に関すること
- (3) 鹿児島市が行う防災セミナー、防災講座その他の防災イベントへの講師派遣に関すること
- (4) 損害保険ジャパン日本興亜鹿児島支店会議室の無償貸出

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体の地域防災力向上のため、安心して暮らせる安全な地域社会を創生することに貢献していきます。

以上